

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。
千葉県議会 質問項目 6月 検索
※の議員は平成三十年七月六日付で立憲民主党に会派を変更しました。

六月二十一日(木)



自民党 佐野 彰 議員 (千葉市中央区)

第二湾岸道路の実現に向けて京葉線・総武線の利便性の向上
新県立図書館基本計画
子どもの貧困



公明党 赤間 正明 議員 (市川市)

東京外かく環状道路
JR総武線ホームドア設置計画
行徳野鳥観察舎
東京オリピック聖火リレー



自民党 武田 正光 議員 (流山市)

(仮称)三郷流山橋
つくばエクスプレスの利便性向上
東葛飾地域の観光
児童虐待



千葉民主の会 守屋 貴子 議員※ (市川市)

子ども食堂
食品ロス
行徳湿地
江戸川第一終末処理場

六月二十一日(金)



自民党 山本 義一 議員 (八街市)

農林業問題
東京オリピック・パラリンピック道路問題
ちばアクアラインマラソン2018



自民党 中沢 裕隆 議員 (柏市)

ホームドアの普及促進
周産期医療
ラグビーワールドカップ
電話de詐欺の被害傾向



自民党 伊豆倉 雄太 議員 (市原市)

千葉県循環器病センター
消防団への支援
農業振興
児童虐待



自民党 戸村 勝幸 議員 (香取郡)

千葉県国際戦略による海外展開
道路問題・地域活性化
農福連携・酪農振興
成田空港



千葉民主の会 網中 肇 議員※ (千葉市中央区)

情報公開条例の請求者要件撤廃
千葉県公文書管理条例の制定
健康福祉部での不適切事務の多発
県内建築物の耐震化の促進

六月二十五日(月)



立憲民主党 大崎 雄介 議員 (船橋市)

児童福祉
保育
特別支援学校
先天性代謝異常等検査



自民党 山中 操 議員 (千葉市若葉区)

旧青少年女性会館
コンテナ貸し倉庫
千葉県住宅供給公社の経営状況
上下水道料金の徴収一元化



自民党 中村 実 議員 (船橋市)

受動喫煙対策
「子ども」表記
海老川水門の改修
警察力の強化



千葉民主の会 矢崎 堅太郎 議員※ (浦安市)

鉄道政策
マンション対策
子ども食堂
浦安市内の護岸



自民党 宍倉 登 議員 (千葉市花見川区)

水道事業
千葉港
企業誘致
道徳教育

六月二十六日(火)



千翔会 水野 友貴 議員 (我孫子市)

減災対策
湖沼の環境保全
電話de詐欺被害防止対策
がんの終末期医療



自民党 小池 正昭 議員 (成田市)

成田国際空港
農業問題
急傾斜地の対策
教育問題



市民ネット・社民・無所属 入江 晶子 議員 (佐倉市)

地下水の継続利用
石炭火力発電所計画と粉じん被害
種子法廃止による影響と対応
夜間定時制高校の給食廃止



自民党 石井 一美 議員 (鎌ヶ谷市)

道路問題
治水問題
教育問題



自民党 今井 勝 議員 (我孫子市)

東京オリピック聖火リレー
手賀沼終末処理場の下水汚泥焼却灰
手賀沼を周回するサイクリングロード
教育行政

6月定例県議会 知事あいさつ

今回提案いたしました案件は、各種条例案及びその他附帯議案の19議案のほか、報告15件です。

議案第1号は、介護保険法の一部改正による介護医療院の創設に伴い、その施設設備等の基準を定めるため、条例を制定しようとするものです。

議案第3号は、地方税法等の一部改正に伴う、県たばこ税の税率引上げなどのため、議案第4号は、選挙運動用ビラの公費負担を行うため、議案第7号は、千葉県男女共同参画センターを移転するため、議案第10号は、中小企業の事業承継の推進を目的として、県制度融資に係る損失てん補の対象を拡大するため、議案第11号は、市原高等学校と鶴舞桜が丘高等学校を統合するため、それぞれ条例の一部を改正しようとするものです。

次に、議案第12号及び議案第13号は、幕張メッセ及び千葉県総合スポーツセンター野球場の工事請負に係る契約を締結するため、議案第14号から議案第16号までの3議案は、労務単価の上昇に伴う工事請負契約の変更のため、議案第17号及び議案第18号は、工業団地に係る土地の処分のため、議案第19号は、有料道路事業の実施に係る同意のため、それぞれ議会の議決を得ようとするものです。

●東京外かく環状道路の開通

6月2日に東京外環自動車道の三郷南インターチェンジから高谷ジャンクションまでの15.5キロメートルが開通しました。この開通により、都心を通ることなく関東各地にアクセスが可能となり、物流の活性化、広域的な観光交流の促進などが期待されます。

併せて、側道部分となる国道298号の松戸市上矢切から市川市高谷までの区間、11.4キロメートルが開通し、市川・松戸間の地域が初めて4車線道路で結ばれ、沿線地域の渋滞緩和、生活道路の安全性向上に寄与するものと考えております。

今後も、広域的な幹線道路の整備を進めるととも



に、その効果を県内全域に波及させるため、県内の道路ネットワーク整備に取り組んでまいります。

●ちばアクアラインマラソン2018

10月21日の開催まで、あと4か月あまりとなりました。

4回目となる今回の大会には、2020年のパラリンピックの機運醸成に向け、障害のある方には「パラ・スポーツ枠」を、一定額の寄附をいただける方には「特別チャリティ枠」を、それぞれ特別枠として設けたところです。

また、一般枠では、フルマラソン、ハーフマラソン、合わせて1万7千人の総定員に対して、2倍を超える応募がありました。

今後は、各種イベントでのPR活動を通じ、大会の機運を盛り上げるとともに、大会当日には、千葉の魅力いっぱいの物産展や、コース沿道での熱い応援などにより、参加するランナーや観客、ボランティアの方々など関係するすべての皆様の心に残る大会になるよう、しっかりと準備を進めてまいります。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧いただけます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索

ちば中学生県議会決議文

インターネットの安全で安心な利用による ネット被害ゼロのちばづくりに関する決議

進展する情報化社会の中で、私たち中学生をはじめとした、多くの人がインターネットを利用しています。

私たちの生活を豊かで便利にするインターネットですが、使い方を間違えれば、犯罪やトラブルに巻き込まれてしまう危険性があります。中学生の利用頻度が高いSNSは、誰でも気軽にやり取りできるなどの利点がある反面、使い過ぎによる生活習慣の乱れや、個人情報の流出、いじめなどの被害につながっているのも現状です。

今後、さらに情報化社会が進展すると、依存症で心や身体を壊してしまう人や、インターネットを通じた犯罪に巻き込まれる人が増えてしまうのではないかと心配になります。

インターネットは、利用している人が気づかないうちにトラブルに巻き込まれてしまうケースが非常に多いと聞きます。これは、インターネットの危険性や正しい使い方を十分に認識していない人が多いことなどが原因と考えられます。

インターネットを安全に安心して利用するためには、すべての人が、その危険性と正しい使い方を理解し、ルールやマナーを守って利用することが大切です。

そのためには、自分の目的にあわせて情報を選び、活用するために必要な「情報リテラシー」や、円滑なコミュニケーション、危険から身を守るために必要な「情報モラル」を身に付け、一人ひとりが責任を持ってインターネットを利用することが必要です。

こうしたことから、行政・警察・学校においては、フィルタリングの普及や犯罪防止対策の徹底など、インターネットの適切な利用に関する周知啓発、良好な環境の整備を推進するとともに、私たち中学生をはじめとした県民一人ひとりが、インターネットによるトラブルの被害者・加害者とならないよう、正しい理解と利用に努め、地域と私たちが一体となって「インターネットの安全で安心な利用によるネット被害ゼロのちばづくり」を実現すべく努力していくことを、ちば中学生県議会として、強く希望します。

以上、決議する。平成30年6月13日

ちば中学生県議会